

SCOT通信 No.99

2010/2/5

別海町立中西別小学校と野付小学校で特別授業 「神秘的な深海魚の世界～暗黒街のモンスターたち」 北海道大学名誉教授 尼岡邦夫先生

SCOT通信98号に掲載した特別授業「神秘的な深海魚の世界～暗黒街のモンスターたち」の続きです。

鳴く深海魚

深海魚は何故鳴くのでしょうか。暗闇の中で雄と雌が出会うために、雄がラブコールで雌を呼ぶ種、雄と雌が互いに愛をささやく種をスライドと標本で観察しました。筋肉を伸縮させて出る音をウキブクロに共鳴させて発音させる仕組みをスライドで勉強しました。



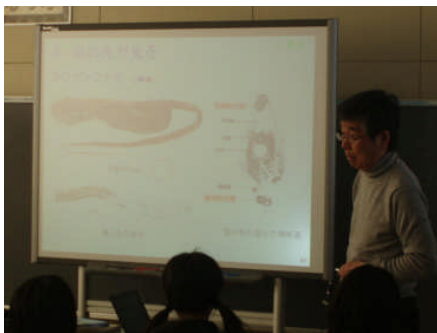
進化した眼、退化した眼

暗闇の中で見るために大きくなった眼、見ることを諦めて小さくなった眼、無くなった眼、感光板のようになった眼、よく見るために望遠鏡のようになった眼などをもった魚がいます。スライドと標本から説明されました。



餌のとり方

餌が少ない深海で、魚はどのようにして餌を捕らえるのでしょうか。串刺し牙、袋、スポイト、トラバサミ、ムシトリスミレ、絡め取り、おろし金、剥ぎ取りなど様々な特殊な方式で餌を巧みに捕らえています。その仕掛けについてスライドと標本で説明されました。



その仕掛けについてスライドと標本で説明されました。



雌に寄生する雄

雄と雌が出会う機会が少ない深海では、雌が体に雄を付けておくことはベストです。最初は繁殖期だけでしたが、やがて一生付けておくような種が出てきて、ついに雌の体の一部になってしまう種が出現しました。最初のクイズの正解は雄であることがこれで分かりました。3尾の雄を付けたミツクリエナガチヨウチンアンコウの標本に手を触れて感動していました。その他、小さいときは雄で、大きくなると雌に性転換する種、雌雄両方の性をもっている種をスライドと標本で見ても驚きました。



深海は特殊な環境にあり、そこで生きていくためにいろいろな特技を発達させなければ生きていけません。実物を見ながら神秘的な深海魚の

多様性について学んだ授業でした。

※この写真は野付小学校で撮影したものです。

(SCOT事務局)